

2023～2025 年度 宗務所における主な出版物発刊事業一覧

機関誌・機関紙

2023 年度～2025 年度 名 称	内容	発行回数又は時期	担当部門
『真宗』	宗派の機関誌として、「公示・告示」「教団の動き」「宗会報告」「宗派声明」「要項」等を掲載する。	毎月 1 回発行	発行：総務部 編集：出版部
『同朋新聞』	真宗同朋会の機関紙として、各寺院・教会へ希望する部数を配布。門徒や同朋の会を紹介する「現在を生きる」、宗派の動きを伝えるニュース等を掲載する。また、「毎月の暮らしに、心に、必要な新聞」を目指し、2026 年 1 月号からリニューアルする。 2025 年 7 月号・2026 年 1 月号～ は 12 面構成	毎月 1 回発行	発行： 企画調整局 編集：出版部

担当【東本願寺出版（出版部）】

2023 年度～2025 年度 名 称	内容	発行回数又は時期
『同朋』	「仏教がみちびく、あらたな人生」をコンセプトに、仏教・浄土真宗を広く社会に伝える教化・広報誌。多種多様な連載・特集をはじめとして、仏教のキーワードから社会の困りごとなどの身近なテーマにふれるインタビュー、対談、寄稿、真宗本廟への上山の機縁となる情報等も掲載する。	毎月 1 回発行
「年間書」	仏事等を縁として、真宗の教えにふれていただくことを願い、寺院・教会が施本として活用できるよう発行し、安価で頒布する。 ①『お彼岸』（秋号）、②『報恩講』、③法語カレンダー（真宗教団連合発行）、④『今日のこたば』（法語カレンダー随想集）、⑤真宗大谷派手帳、⑥教化冊子『真宗の生活』、⑦『法事を勤める』、⑧『修正会』、⑨『お彼岸』（春号）、⑩『永代経』、⑪『お盆』。	年 1 回 8 月発行…①②③④⑤⑥ 年 1 回 10 月発行…⑦ 年 1 回 11 月発行…⑧ 年 1 回 2 月発行…⑨ 年 1 回 3 月発行…⑩ 年 1 回 6 月発行…⑪
「仏事冊子」	仏事の回復を願い、また寺院・教会が施本として活用できるよう、法話や講演等を短く編集し発行する。	年 2 冊発行

「伝道ボックス」	寺院・教会が施本として活用できるよう、書き下ろしや講演録を短く読みやすく編集し発行する。	年 3 冊発行
「真宗文庫」	全国の書店での販売を主眼とし、書き下ろしや講演録を編集した文庫を発行する。	年 2 冊発行
「真宗新書」	全国の書店での販売を主眼とし、内容に専門性を持たせた書き下ろしや講演録を新書判にて発行する。	年 1 冊発行
単行本	一人でも多くの方に仏教、真宗の教えを学んでいただけるよう、書き下ろしや講演録をはじめ、『同朋』や『同朋新聞』での連載をまとめた書籍や絵本等を発行する。	適宜発行
安居講録	安居本講及び次講について講録を発行する。 ①2025 年安居本講 『顕浄土真実証文類』聞思（尾畑文正） ②2025 年安居次講 『観無量寿経』序分開記（鶴見 晃）	年 1 回 7 月発行

担当【聖教編纂室（出版部所管）】

2023 年度～2025 年度 名 称	内容	発行回数又は時期
『真宗聖典 第二版』	真宗門徒の聞法テキストである『真宗聖典 第二版』を発行する。	2024 年 4 月発行済
『宗祖親鸞聖人著作集二』	『真宗聖典 第二版』と照応し、原典に立ち返った学びを進める聞法テキストとして、宗祖撰述の著作（『浄土文類聚鈔』、『愚禿鈔』、『入出二門偈頌文』、『浄土三経往生文類』、『如来二種回向文』）の翻刻を収載した『宗祖親鸞聖人著作集二』を発行する。	2025 年 4 月発行済
『「坂東本 教行信証」カラー影印縮刷本』	宗祖自筆の「坂東本 教行信証」を基にした学びを進めていただくべく、全頁カラーの影印縮刷本を発行する。	2025 年 11 月発行 ※2025 年 6 月より予約受付開始

『宗祖親鸞聖人著作集三～五』	『宗祖親鸞聖人著作集三』（和讃：『浄土和讃』、『高僧和讃』、『正像末和讃』、『皇太子聖徳奉讃』、『大日本國粟散王聖徳太子奉讃』）、『宗祖親鸞聖人著作集四』（仮名聖教：『尊号真像銘文』、『一念多念文意』、『唯信鈔文意』、『弥陀如来名号徳』、『唯信鈔』、『後世物語聞書』、『一念多念分別事』、『自力他力事』）、『宗祖親鸞聖人著作集五』（御消息：『親鸞聖人御消息集（広本）』、『御消息集（善性本）』、『親鸞聖人血脈文集』、『末燈鈔』、『御消息拾遺』）を発行する。	順次発行
----------------	--	------

担当【親鸞仏教センター】

2023 年度～2025 年度 名 称	内容	発行回数又は時期
añjali (アンジャリ)	経済、思想、教育など、専門分野で活躍される方々に現代の最先端の課題とその苦闘を執筆いただき、「現代」と「親鸞」を結ぶ視点を探り、確かな時代の方向性を見定める情報誌。	年 1 回発行
現代と親鸞	親鸞仏教センターの「現代と親鸞の研究会」をはじめ、外部より講師を招聘して開催した各種研究会の講義録や研究論文等を掲載し、研究成果を広く公開する研究誌。	年 2 回発行
親鸞仏教センター通信	親鸞仏教センターの研究内容や交流業務など、センターの活動を紹介する機関紙。	年 2 回発行
近現代『教行信証』研究 検証プロジェクト 研究紀要	近現代の『教行信証』研究の成果を思想研究や文献研究などの側面から検証し、親鸞聖人の根本著作の現代的解釈の展望を試みることを課題とした研究プロジェクトの研究誌。	年 1 回発行

担当【組織部国際室】

2023 年度～2025 年度 名 称	内容	発行回数又は時期
『MON - 聞・門 - 』	外国人観光客を対象に、真宗本廟を訪れたことをご縁として、日本仏教、浄土真宗の教えに少しでもふれていただけるような機会を提供するため、英語による教化物を作成する。	年 2 回発行

担当【沖縄開教本部】

2023 年度～2025 年度 名 称	内容	発行回数又は時期
ハイサイ沖縄	沖縄開教本部及び東本願寺沖縄別院の広報紙。沖縄で取り組んでいる教化事業や、文化・風土など沖縄の「今」を発信する。	隔月発行

担当【解放運動推進本部】

2023 年度～2025 年度 名 称	内容	発行回数又は時期
『身同』	解放運動推進本部研究紀要として、本部委員・要員の研究・活動成果を中心に構成する。	隔年 1 回発行 (2023・2025 年度発行)
『あいあう』	男女両性で形づくる教団の願いのもと、宗門内外の人々に女性の宗門活動の推進と参画の促進を願い、その活動を公開して課題を共有する。女性室に寄せられた様々な意見を問題提起として受けとめ、その課題を発信する。	年 1 回発行
啓発リーフレット	大谷派における解放運動の課題や差別問題についてわかりやすくまとめた内容として発行。2024 年度は性的少数者に関する課題についてのリーフレットを作成する。	2024 年度発行済
ネットワークニュース『願いから動きへ』 (ハンセン病問題に関する懇談会編集)	ハンセン病療養所入所者等の言葉や療養所の現状、並びに「ハンセン病問題に関する懇談会」や教区の取り組みを掲載し、現在の課題を学ぶための視座を発信する。	年 1 回発行
是旃陀羅問題学習テキスト 『御同朋を生きる』	『仏説観無量寿経』『是旃陀羅』の語にかかわる差別問題から、あらためて『観無量寿経』を読みなおす。また「いし・かわら・つぶてのごとくなるわれら」に象徴されるような、真宗における解放の地平について、宗祖親鸞の視座を確かめる。そしてあらためて、差別的な解釈や布教といった宗門の歴史的罪責を検証する。テキストを、各教区や組における課題共有のための依りどころと位置づけ、宗門にかかわる一人ひとりが同朋会運動の推進について受けとめなおすことにつながるものとする。	2024 年 1 月発行

『部落差別問題学習資料集（改訂）』	1922 年の全国水平社創立以来、部落差別を温存・助長する教団としての厳しい批判を受け続けてきた宗門の在り方を確かめ、宗門人一人ひとりが、真に同朋社会の顕現に努めるべく、学習を進めていくうえでの基本となる資料を収載。書籍名を『部落差別問題学習資料集』とし、読みやすさを考慮した新字体への統一など資料・解説の精査を行い、「是施陀羅」問題の取り組みを追加した改訂 3 版を 2025 年度に発行する。	2025 年度発行
-------------------	--	-----------

担当【教学研究所】

2023 年度～2025 年度 名 称	内容	発行回数又は時期
教化研究	住職・教師・僧侶向けの教化誌。2023 年度 171・172 合併号、2024 年度 173、174 号、2025 年度 175 号、176 号を発行予定。	年 2 回発行
ともしび	東本願寺日曜講演・親鸞聖人讃仰講演会の抄録を掲載する。	毎月 1 回発行

担当【首都圏教化推進本部】

2023 年度～2025 年度 名 称	内容	発行回数又は時期
首都圏広報誌 『サンガ』	首都圏に住まう都市生活者（主に30代・40代）に対し、親鸞聖人の教えにふれ、仏教を身近に感じていただくとともに、首都圏の教化拠点である真宗会館の各種事業の周知を目的とし、都内の地下鉄駅や書店にて設置している。加えて、首都圏への転居門徒や特に若い世代の門徒への施本として活用いただけるよう全国の寺院・教会を対象にした多部数定期購読も行う。	年 6 回奇数月発行
首都圏教化広報誌 『ザイン』	親鸞フォーラムの内容を中心にして、「真宗の教え」「親鸞思想」を広く発信する首都圏教化広報誌。2023 年度は、第 16 回親鸞フォーラム（伊藤亜紗氏・大空幸星氏・花園一実氏）の内容を収録した Vol. 10 を発行。Vol. 11 は第 17 回親鸞フォーラム（2024 年 7 月開催 堀潤氏・サヘルローズ氏・名和達宣氏）の内容をもとに 2025 年度に発行予定。	隔年 1 回発行 (2023 年 8 月・2025 年度発行)